

3-6 教育改革事務部門管理者会議

本会議は、事務部門の最高責任者の方々を対象とした理事長・学長会議の事務局版と位置づけ、教育改革を進める上でのマネジメント全般に関する問題、情報化戦略について理解を深めることを目的としている。20年度で12回目となる。

20年度は、教員の教育力強化による教育改革戦略と教育をマネジメントとする職員の職能開発について啓発することを開催の趣旨とした。また、報道された教員による授業改善調査に基づいた教育現場での問題点、教育改善に向けた今後の課題、授業でのIT使用状況と効果と問題点、今後の改善策の他、本協会による分野別「学士力」の提言、情報関係補助金の変更点、大学・短期大学における情報投資の実態などについて理解を促すことを計画し、以下の通りの開催要項を決定した。

平成20年度教育改革事務部門管理者会議開催要項

日時：平成20年11月28日(金) 13:00~17:30
場所：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館) 3F 富士の間

【開催趣旨】

教育振興基本計画の中で、大学は社会の信頼に応えられる学士課程教育の実現に向け、大学全体の教育力の強化を掲げている。学士力の明確化、FD実質化による教育支援の整備、学生の学習・助言支援の整備、教育改革のマネジメント強化など、職員として対応すべき課題が山積している。改革を進める中で職員がどのように対応することが望まれるか、情報化戦略の見直しも含め探求する。

【開会挨拶】 戸高敏之氏(私立大学情報教育協会会長)

【紹介】 「教員の教育力強化による教育改革戦略」

説明：宗像恵氏(近畿大学副学長)

学士力の強化を図るには、学部等教育目標の明確化、学習意欲を喚起する教育プログラムの実現、教育方法等の改善、授業外での学習・助言支援など、FD活動の実質化に向けた取り組みが重要となる。教育改革に向け教員の教育力強化に大学あげて取り組んでいる事例を紹介いただく。

【紹介】 「教育をマネジメントする職員の職能開発」

説明：本間政雄氏(立命館大学副総長)

教育改革を着実に進め、実効あるものにして行くためには、大学の使命達成に向け教員と職員が協同して取り組むことが不可欠となってきている。教育・学習支援をはじめ、人材育成支援プログラムの企画・マネジメントなど、FDと同様に高度な判断力、専門知識の開発に取り組んでいる事例を紹介いただく。

【話題提供】 「私立大学教員が指摘する教育改善の課題」

説明：井端正臣氏(私立大学情報教育協会事務局長)

本協会の教員による「授業改善調査」の結果に基づき、教育現場での問題点、教育改善に向けた今後の課題、授業でのIT使用状況と効果と問題点、今後の改善策について説明する。

【関連情報提供】

「本協会による人文・社会・理工系の分野別『学士力』の提言」

「21年度より大幅に変更する情報関係補助金の内容」

「19年度大学・短期大学における情報投資の実態」

説明：本協会事務局

参加は、119大学、2短期大学から178名が参加、昨年度より25名多くなった。